

空名について

藤川直也

京都大学文学研究科（日本学術振興会特別研究員）

指示対象を欠く名前はしばしば空名（empty names）と呼ばれる。フィクションや誤った科学理論には、空名（少なくともそう思われる名前）が現れる。「ドラえもん」、「シャーロック・ホームズ」、「ジャン＝リュック・ピカード」は前者の例、「ヴァルカン」、「ゼウス」は後者の例だ。本発表ではこれらの名前に関する直接指示論的理論としての「キャラクター指示説」の可能性を検討する。

空名は、直接指示論の主要テーゼの一つである、名前に関するミルの見解に深刻な問題を突き付けると論じられる。ここではミルの見解を次のようにまとめておこう。

MV-1: 名前の意味論的値、すなわち、名前が、それを含む文の発話の内容、とりわけその発話の真偽に関わる内容（意味論的内容）に対して為す貢献は、その指示対象に尽きる。

MV-2: 名前を含む文の発話の意味論的内容は単称命題（対象と性質の順序対）だ。単称命題が真なのは、その構成要素である対象が同じくその構成要素である性質をもつ場合かつその場合に限る。

このミルの見解からは、空名やそれを含む文について次のことが帰結するように思われる。名前の意味論的値はその指示対象だけなのだから、指示対象を欠く名前は意味論的値をもたない。名前を含む文の発話の意味論的内容は、その名前の唯一の意味論的値である対象を構成要素にもつ単称命題なのだから、空名を含む文の発話は表現すべき意味論的内容をもてない。すると空名を含む文の発話はその真偽に関わる内容をもたないのだから、真理値を欠くことになる。しかしこの帰結は、空名を含む文の発話の内容と真偽に関する我々の直感に反している。例えば、「ドラえもんはネコ型ロボットだ」は無内容ではなく、しかも正しい。あるいは「シャーロック・ホームズは女性だ」は何らかの内容をもっているが、偽だし、「ヴァルカンは存在しない」は内容をもっていて、真だ。このように、ミルの見解からの帰結は、空名を含む文の発話の内容や真理値に関する我々の直感と相容れない。

特にフィクションに現れる名前に関して、この問題に対する直接指示論的な解決策の一つに「キャラクター指示説」がある（Salmon, 1998, Thomasson, 2003, Predelli, 2002）。キャラクター指示説の基本的な考えは、フィクションに現れる名前は、フィクション上のキャラクターを意味論的値としてもつ、というものだ。フィクションに現れる名前が意味論的値をもつならば、それを含む文の発話が意味論的内容を欠くということもないし、真理値についてもそうだ。このように、キャラクター指示説は、

フィクションに現れる名前はそもそも空名ではないので指摘された問題は生じないという仕方、問題を解決しようとする。キャラクター指示説の基本主張は次だ。

CR-1: フィクションに現れる名前は、フィクション上のキャラクターを指示し、それを意味論的値としてもつ。

CR-2: フィクションに現れる名前を含む文の発話の意味論的内容は、フィクション上のキャラクターを構成要素にもつ単称命題である。

本発表では、キャラクター指示説を次の四つの論点について評価する。

(A) **キャラクターの存在論**：キャラクター指示説を実質的なものにする（例えば、フィクション上のキャラクターを構成要素とする単称命題に真理値を与える）ためには、フィクション上のキャラクターの存在論を考慮する必要がある。キャラクター指示説の支持者の多くは、フィクション上のキャラクターを、フィクションの作者やその読者・観客らの活動によって作り出される、現実世界に実在する文化的・人工的な抽象的対象だと見なしている。このキャラクター存在論を文化的人工物説と呼ぼう。しかし、キャラクター指示説自体は、文化的人工物説という特定のキャラクター存在論を含意しない（逆もまたしかり）。では、文化的人工物説以外のキャラクター存在論と組み合わせると、キャラクター指示説はどのように具体化されるだろうか？ 特にマイノング主義的なキャラクター存在論と組み合わせるとどのような帰結が得られるだろうか？

(B) **誤った科学理論に現れる名前**：キャラクター指示説は、フィクションに現れる名前に着想を得た理論だ。ではこの理論は、空名のもう一つの主要なクラスである偽なる科学理論に現れる名前に応用できるだろうか？ できるとすればそれはどのような理論になるのか？

(C) **否定単称存在言明**：「ドラえもんは存在しない」は真だろう。「ドラえもん」はフィクション上のキャラクターであるドラえもんを指示するとするキャラクター指示説は、この文の発話を真にするような真理条件を提示できるだろうか？ 一般に、キャラクター指示説は否定単称存在言明をどのように扱うのか？

(D) **ミルの見解以外の直接指示論のテーゼ**：名前に関する直接指示論の主要テーゼには、ミルの見解以外に、少なくとも、指示の歴史的・社会的説明（因果説）、固定指示子説がある。キャラクター指示説は、これらのテーゼと整合的だろうか？

文献

Predelli, S. (2002). "Holmes' and Holmes—A Millian Analysis of Names from Fiction", *Dialectica*, 56: 3, 261-279.

Salmon, N. (1998). 'Nonexistence', *Nous*, 32: 3, 277-319.

Thomasson, A. L. (2003). 'Speaking of Fictional Characters', *Dialectica*, 57: 2, 205-223.